

英語

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領（平成29年3月）に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通 観 点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。
	(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長		
共通 観 点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。
教科 独 自 観 点	(4)	4技能5領域をバランスよく育成できるよう配慮され、かつ複数の技能を統合した活動を仕組むことができるよう工夫されているか。
	(5)	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などが設定され、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動を行うことができるよう配慮されているか。
	(6)	多様な文化や社会的な話題を取り扱い、自ら発信したいと思える題材を取り上げているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通 観 点	(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

観点	発行者	東 書	開隆堂
1	教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。	日本の伝統芸能や食文化、ポップカルチャーなどを題材にして、我が国の文化を英語を用いて発信する活動を設定することで、自国の文化を尊重し、世界に発信する態度を養うことができるよう配慮されている。	日常生活だけでなく、環境、平和、人権、共生などの現代的課題を扱う題材を取り入れることで、豊かな感性を育み、自ら考え行動し主体的に学ぼうとする態度を養うことができるよう配慮されている。
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。	2年の日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介する活動では、本県が認定を受けた世界文化遺産に関連付けて取り扱うことができる。	2年の広島への修学旅行や折り鶴を取り上げた題材では、本県の平和教育などと関連付けて取り扱うことができる。
2	学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長		
(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。	単元末のゴールの活動である「Unit Activity」に向かって、各Unit内の活動を積み上げていく構成にすることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。	新出現を漫画形式で示すことにより、どのような目的や場面、状況で使われる表現か一目で分かるようにすることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。
(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。	単元末活動「Unit Activity」では、既習の表現を生かして自分の考えをまとめ、述べたり、書いたりする活動を設けることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	「Action」では、本文の題材に関連したトピックで自分の考えを述べたり、発表したりする活動を設けることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。
(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。	「Stage Activity」では、既習事項を活用し、協働的に学習を進める場面を設定することで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	「Tuning in」では、本文の題材に関連した写真やクイズを掲載し、興味・関心を喚起し目標を設定することで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。
(4)	4技能5領域をバランスよく育成できるよう配慮され、かつ複数の技能を統合した活動を仕組むことができるよう工夫されているか。	各単元を「Preview」「Part」「Activity」「Read and Think」「Unit Activity」で構成することで、4技能5領域をバランスよく育成することができるよう配慮されている。 複数の単元後の「Stage Activity」では、4技能5領域の統合的活動を設定することで、これまで身に付けた学習内容を活用し、自己表現力を高めることができるよう工夫されている。	各単元を「Scenes」「Tuning in」「本文」「Review&Retell」「Action」「英語早わかり」で構成することで、4技能5領域をバランスよく育成することができるよう配慮されている。 3年間を通して複数の技能を統合した「Our Project」を設定することで、系統的・発展的に学びを深めることができるよう工夫されている。
(5)	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などが設定され、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動を行うことができるよう配慮されているか。	「Stage Activity」では、Unitで学習してきたことを踏まえて、コミュニケーションを行う目的・場面・状況を設定することで、相手意識をもった言語活動を行うことができるよう配慮されている。 「Unit Activity」では、各パートの「Activity」で表現したことを生かして、コミュニケーションを行う目的・場面・状況を設定することで、発信する言語活動を行うことができるよう配慮されている。	「Power-Up」では、実生活に即した具体的な目的や場面、状況を設定することで、コミュニケーションの技能と実践を関連付けた言語活動を行うことができるよう配慮されている。 「Our Project」では、各単元で習得したコミュニケーションの技能を生かせる目的や場面、状況を設定することで、情報を整理して説明したり相手とやり取りしたりするなどの言語活動ができるよう配慮されている。
(6)	多様な文化や社会的な話題を取り扱い、自ら発信したいと思える題材を取り上げているか。	防災・安全、多様性・人権、環境問題など、今日的課題を豊富に取り扱うことで、英語を学びながら多様な見方・考え方を育てることができるよう配慮されている。 「Real Life English」シリーズでは、実際の生活に即した場面を設定することで、必然性をもって自ら発信することができるよう配慮されている。	SDGs、環境、平和、人権、共生、国際社会への貢献などの題材を取り扱うことで、視野を世界に広げ、豊かな感性を育むことができるよう配慮されている。 「Tuning in」では、本文の題材に関連した写真やクイズ、雑学を掲載し、内容についての興味・関心を喚起することで、主体的に学び自ら発信することができるよう配慮されている。
3	学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。	文章量を段階的に増やし、全学年を通して、既習事項を繰り返し学習できる構成にすることで、無理なく学習できるよう学年間の接続を意識した文章になっている。	現代の標準的で平易な英語を使い、運用度の高い基本的な表現や語彙・連語が精選されて、易から難へとただらかに配されることで、発達段階に応じて学習できるよう配慮されている。
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	写真、挿絵、図表などは鮮明で数が多く、効果的に掲載することで、学習への動機付けに加え、内容の理解を助けるよう工夫されている。	写真、挿絵、図表は鮮明で数が多く、2コマ漫画で新出現を導入したり、大きな写真で単元の題材についての動機付けを行ったりすることで、学習内容の理解を助けるよう工夫されている。
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。	本文やNew Words、Key Sentencesなど、紙面上の要素のデザインや配置を統一することで、安心して使いやすい教科書になるよう配慮されている。	鮮明かつ優しい色使いで見やすい写真等を豊富に掲載することで、全ての生徒にとって分かりやすく読みやすい教科書になるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

英語

観点		発行者	三省堂	教 出
1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長				
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。	幅広い題材を取り上げ、異なる文化的背景をもった登場人物たちの会話を通して学ぶようにすることで、豊かな道徳心や社会形成に参画する態度を養うことができるよう配慮されている。	社会や将来へ考えを広げることができる題材を用いて、単元目標をCAN-DO記述文で示し最後に自己評価ができるよう工夫することで、主体的な学びを促進し、対話的な学びへと導く態度を養うことができるよう配慮されている。	
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。	1年では、本県出身の車いすバスケットボール選手である鳥海連志についての題材が、写真とともに掲載されている。	2年では、参考資料として長崎を紹介する記事が龍踊りの写真とともに掲載されている。	
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長				
(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。	「Goal Activity」の「話す」「読む」「書く」の3つの言語活動に向けて、段階的に学びを進めるよう構成することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。	単元末の丁寧な文法解説と、そこで扱った文法事項を含んだ会話練習により新出の英文法に慣れ親しませることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。	
(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。	「Take Action!」では、実生活に即した場面での表現活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	「Task」では既習事項を基に自己表現活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	
(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。	「Goal Activity」では、日常生活に即した題材を自分のこととして考え、深める活動を行い、「Project」では、複数の学習内容を協働的に取り組む活動を設けることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	「Activities Plus」では、既習内容を使いながら現実的な場面に即し「即興的なやり取り」の力を伸ばす場を設定することで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	
(4)	4技能5領域をバランスよく育成できるよう配慮され、かつ複数の技能を統合した活動を仕組むことができるよう工夫されているか。	各単元を「Lesson Preview」「Scene」「Goal Activity」「Language Focus」「Take Action!」で構成することで、4技能5領域をバランスよく育成できるよう配慮されている。 複数の単元のまとめとして様々なジャンルを取り上げている「Project」を設定することで、技能統合的な活動ができるよう工夫されている。	各単元を「Part」「Task」「Grammar」の流れで構成することで、4技能5領域をバランスよく育成できるよう配慮されている。 複数の単元のまとめとして「Project」という活動を設定することで、学んできた知識・技能を活用し技能統合的な活動ができるよう工夫されている。	
(5)	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などが設定され、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動を行うことができるよう配慮されているか。	各単元において、必然的にコミュニケーションを行う目的や場面、状況を設定することで、「Goal Activity」において、単元を通して学んだ表現を活用した言語活動を行うことができるよう配慮されている。 「Take Action!」では、実際の生活場面や特有の表現が使われる目的や場面、状況を設定することで、既習事項を生かして自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動を行うことができるよう配慮されている。	各単元末の「Project」では、これまで学んできた知識や表現を生かせるような目的や場面、状況を設定することで、自分の考えや気持ちを適切に伝え合ったりする言語活動を行うことができるよう配慮されている。 「Useful Expressions」では、日常的な場面や必然的な状況を設定することで、生きて使える英語に直結する表現を学び、目的意識や意欲をもって言語活動に取り組むことができるよう配慮されている。	
(6)	多様な文化や社会的な話題を取り扱い、自ら発信したいと思える題材を取り上げているか。	防災・安全、身近な環境問題や社会問題、平和・人権について登場人物と一緒に考える場面を設定することで、広い視野をもちながら自分の考えを発信することができるよう配慮されている。 「Project」では、想像をふくらませるようなテーマやトピックを設定することで、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるよう配慮されている。	SDGsに関わる様々な題材を設定することで、持続可能な世界を目指していくための幅広い視野を育み、現代社会の問題を自らの課題と考えることができるよう配慮されている。 「Project」では、生徒の発達段階に応じた身近な話題や社会的な話題を扱うことで、話題に関心をもちながら適切に自分の考えを発信することができるよう配慮されている。	
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長				
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。	文章量を段階的に増やすことで、発達段階を考慮した適切な内容になるよう配慮されており、言語材料や言語活動は平易なものから複雑なものへ段階的な配列が工夫されている。	文章量を段階的に増やすことで、発達段階を考慮した適切な内容になるよう配慮されており、新出語は本文だけでなく、本文以外の部分でも扱い、分散させることで、学習時の負担を軽減するよう工夫されている。	
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	写真、挿絵、図表などは鮮明で数が多く、漫画や写真などを効果的に掲載することで、学習意欲を高め、内容理解を助けるよう工夫されている。	文章の内容と関連の深い写真、挿絵を掲載することで、イメージを膨らませるとともに、本文の内容理解を助けるよう工夫されている。	
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。	十分な大きさの書き込み欄を設けることで、全ての生徒にとって記入しやすく、読みやすい教科書になるよう配慮されている。	紙面を視覚的に大きく見せることができる横幅の広いAB判にすることで、読みやすく見やすい教科書になるよう配慮されている。	

Ⅲ 具体項目

英語

観点		発行者	光 村	啓林館
1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長				
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。		3年間ひと続きの個性豊かな中学生の成長物語が中心で、キャラクターとともに人間的な成長を示すことで、豊かな情操と道徳心を高める態度を養うことができるよう配慮されている。	指導と評価の一体化を目指し、個人の考えを大切にしながら、学習の見通しをもたせたり、振り返らせたりすることで、主体的に学習する態度を養うことができるよう配慮されている。
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。		2年の「郷土かるた」では、本県の魅力を伝える活動として、3年の広島ピースボランティアを取り上げた題材を、本県の平和運動と関連付けて取り扱うことができる。	日本と世界の祭りや世界遺産を知ることを通して、外国文化との違いを知るだけでなく、自国及び郷土の伝統文化を再認識し、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮されている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長				
(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。		5領域のバランスや活動の一貫性が考慮されており、「基本文」や「Active Grammar」で文構造や文法などの知識を丁寧に整理することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。	コミュニケーション活動の基礎となる知識・技能に、十分親しみながら、段階を踏んだ学習場面を設定することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。
(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。		「Story Retelling」では、物語の内容を自分の言葉で話す活動を設けることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	「Think & Speak」「Think&Write」では、各Unitで学んだ言語材料を使って場面や状況に応じて話したり書いたりする活動を設けることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。
(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。		巻末にCAN-DO Listを掲載したり、単元末の「Goal」や複数の単元のまとめ「You Can Do It!」にふり返りのコーナーを設けたりすることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	「Project」では、それまで学んだことを生かしながら、設定された課題に対して自分の考えや意見をまとめ、話したり、書いたりする場を設けることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。
(4)	4技能5領域をバランスよく育成できるよう配慮され、かつ複数の技能を統合した活動を仕組むことができるよう工夫されているか。		各単元を「Part1～3」「Goal」で構成することで、4技能5領域をバランスよく育成できるよう配慮されている。 単元で学んだことを表現していく「Goal」や「You Can Do It!」という活動を設けることで、技能統合的な活動ができるよう工夫されている。	各単元を「Part」「Think&Speak」「Think&Write」で構成することで、4技能5領域をバランスよく育成できるよう配慮されている。 「Let's シリーズ」では、各技能領域に特化したコーナーで、実生活に即したコミュニケーション能力を育成する活動を設けることで、技能統合的な活動ができるよう工夫されている。
(5)	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などが設定され、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動を行うことができるよう配慮されているか。		「Daily Life」では、実際の生活で必要とされるコミュニケーションの場面や状況を設定することで、聞いたり読んだりしたことをもとに、自分の考えや気持ちを話したり書いたりできるように配慮されている。 英語を使う目的、場面、状況が分かりやすいストーリーを設定することで、単元末の「Goal」では、登場人物になりきって意欲的に発信する言語活動を行うことができるよう配慮されている。	「Express Yourself」では、実際のコミュニケーションを行う目的や場面、状況を設定することで、自分の感想や考えを話したり書いたりして伝える言語活動ができるように配慮されている。 「Let's Talk」では、道案内や買い物など、実生活に即した場面や状況を設定することで、場面特有の表現や即興的なやり取りができるよう配慮されている。
(6)	多様な文化や社会的な話題を取り扱い、自ら発信したいと思える題材を取り上げているか。		「World Tour」や「Let's Read」では、世界へ視野を広げる題材を取り扱うことで、多様なものの見方・考え方を育むことができるよう配慮されている。 発達段階に応じて、SDGs、安全・防災、スポーツ、人権、国際理解などの題材を扱うことで、広い視野をもって自分の考えを発信することができるよう配慮されている。	SDGs、文化の多様性、自国の伝統文化、ユニバーサルデザインなどの題材を取り扱うことで、視野を広げ、英語を学びながら多様な見方・考え方を育てることができるよう配慮されている。 「Let's Write」では、日常的・社会的な話題について段階的に書く活動を設定することで、学習意欲を高めながら学習することができるよう配慮されている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長				
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。		全学年の単元数を揃え、学習の上で無理がない適切な文章量で、3年間の生徒の生活を想定した教材配列にすることで、発達段階に応じた学習ができるよう工夫されている。	小学校英語の流れを汲みながら、高校での学習にも対応できる力を育成するために、文章量を段階的に増やすことで、発達段階を考慮した適切な内容になるよう配慮されている。
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。		各単元の扉の挿絵や写真により、学ぶ内容の動機付けや学習の見通しができ、また、目に優しい色合いの大判挿絵や鮮明な写真を用いることで、インパクトのある紙面構成となるよう配慮されている。	各単元の扉の挿絵や写真を見ることで、学ぶ内容の動機付けや学習の見通しができ、また、目に優しい色合いの挿絵や鮮明な写真を効果的に掲載することで、学習効果が上がるよう配慮されている。
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。		紙面を視覚的に大きく見せることができる横幅の広いAB判にすることで、読みやすく見やすい教科書になるよう配慮されている。	余白部分、行間スペースを十分に設けることで、読みやすい教科書になるよう配慮されている。